

第 13-14 回
(2014.1.15, 20)

総合演習

北村由美准教授(附属図書館)

□ 第 13 回

- ・ 場所：学術情報メディアセンター南館 203
- ・ 出席者：25 名 補助 6 名
- ・ 配布資料：プレゼン資料 (2 班)

■総合演習「グループ発表」講義内容 (60 分)

- ・ 「参考資料の種々とその利用」(第 10 回～第 12 回)の講義、演習及びグループワークを踏まえた発表を行った。
- ・ 第 10 回に示されたグループワーク課題は、「衣」・「食」・「住」のいずれかの関心領域により班分けを行ったうえで、各班で研究テーマを設定し、文献調査と情報の整理・分析を行った上で、研究計画として発表するというもの。
- ・ 第 13 回は、次のとおり 1 班と 2 班が発表をした。
 - 1 班「京都大学におけるシンプルなファッションの地位」(選択テーマ：衣)
ファッション史の先行研究調査に基づき、聞き込みやアンケートにより京大生のファッションの「シンプル」さの特性を示すという研究計画が示された。
 - 2 班「日本食について」(選択テーマ：食)
日本食の歴史、発酵食品、魚の栄養素、食育等の観点からの調査結果と研究の展望が示された。
- ・ 各班の発表内容について、北村先生による講評の後、授業参加者への質問が求められ、演習補助者からそれぞれの班への質問がなされた。
- ・ 発表班以外は、各自、プレゼンテーションの手法や内容を評価の上、総合点を付す「発表評価シート」を記入した。シートはその場で回収し評価点の平均を集計し、より得点の高かった班が発表された。
- ・ 最後に北村先生からの総評として、以下の評価ポイントが示された。
 1. 問題関心が明確になっているか
 2. 先行研究を十分に検討しているか
 3. 先行研究の流れの中に、テーマを位置づけられているか
 4. 研究計画の意義を明確に説明できているか
 5. 研究計画の内容に具体性があるか

■発表準備 (30 分)

- ・ 次回に発表する班は、発表内容の検討を行った。

□ 第14回

- ・ 場所：学術情報メディアセンター南館 203
- ・ 出席者：27名 補助 11名
- ・ 配布資料：プレゼン資料（4～7班）

■総合演習「グループ発表」講義内容（60分）

- ・ 第13回に続き、次のとおり4班、5班、6班、7班が発表をした（人数合わせで組替えたため、3班は存在しない）。
 - 4班「京都の着物需要に対する意識調査:着物の販売戦略に向けて」（選択テーマ：衣）
着物史と京都の着物産業の現状を整理、和装実践に関する先行研究を分析が示された。その上で、街頭アンケートによる着物についての意識調査を行い、着物需要拡大策へつなげるという研究計画が説明された。
 - 5班「食品偽装問題の現状と対策」（選択テーマ：食）
近年の食品偽装事件事例から法律面の課題及び偽装問題の要因と対策が説明された。その上で、食品トレーサビリティ制度を取り上げ、その普及の可能性を問う研究計画が示された。手法として、同制度の先行研究調査と消費者及び事業者へのアンケートを行う。
 - 6班「食品添加物」（選択テーマ：食）
食品添加物の定義、歴史及び指定制度の説明、また先行研究として、食品添加物についての意識調査が説明された。その上で、今後の研究計画として、京大生を対象とする意識調査が実施上の留意点とともに示された。
 - 7班「学生へのハウスシェアリングの導入促進の可能性」（選択テーマ：住）
一人暮らしに伴う問題解決策として、ソーシャルキャピタルの観点からシェアハウスが提起された。また先行研究として、京大生の生活実態調査が示された。さらに、研究計画として、先行研究調査の深化やアンケート調査の実施が研究展望とともに説明された。
- ・ 各班の発表内容について、北村先生から、アンケートや参考文献の書式、仮説に対する研究手法の整合性、研究意義の明確化等の観点による講評がされた。また、授業参加者への質問が求められ、演習補助者からそれぞれの班への質問がなされた。
- ・ 前回同様、発表班以外は「発表評価シート」を記入した。シートはその場で回収し評価点の平均を集計の上、より得点の高かった班が発表された。
- ・ 総合演習についてのアンケート記入が追跡調査実施の旨と合わせて、周知された。

（記録：赤澤 久弥）